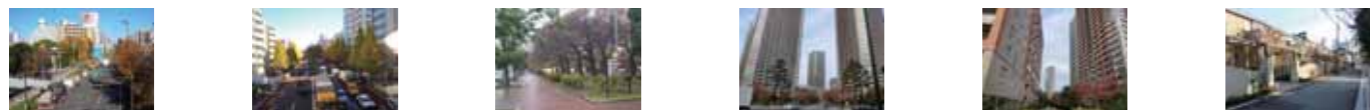
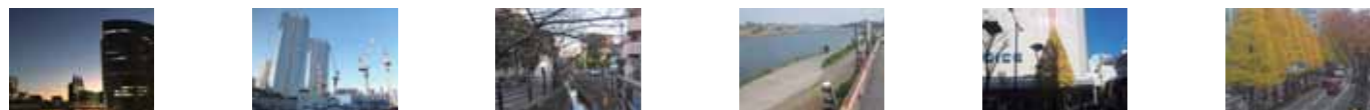
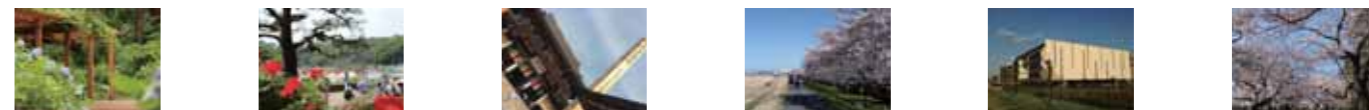


## 私の撮っておきの川崎

平成26年度 景観まちづくり意識普及イベント



平成27年3月 川崎市まちづくり局計画部景観・まちづくり支援課 Tel: 044-200-2707



## 私の撮っておきの川崎

平成26年度 景観まちづくり意識普及イベント

## ワークショップについて

本市では、市民の皆様に、景観まちづくりに対するご理解や意識を高めていただくために、これまでも市内の景観をめぐるバスツアーなどのイベントを行ってまいりましたが、今年度は、身近な景観資源を改めて発見し、また認識していただくため、写真撮影と景観まちづくりを融合させたワークショップを実施してフォトブック「私の撮っておきの川崎」を作成しました。

このフォトブックにより、改めて皆様の身近な景観を知っていただき、川崎の新たな魅力を感じていただけたら、幸いです。

開催日時：平成27年1月17日土曜日午後2時から  
開催場所：かわさき市民活動センター会議室  
当日参加者：21名



講師

ランドスケープ  
デザイナー

石川 初氏



京都府宇治市出身。東京農業大学農学部造園学科を卒業後。鹿島建設株式会社、米国HOKプランニンググループ、KAJIMADESIGNを経て、現在株式会社ランドスケープデザイン設計部に勤務。登録ランドスケープアーキテクト。東京大学空間情報科学研究センター協力研究員、千葉大学特任准教授、早稲田大学、武蔵野美術大学にて非常勤講師。グッドデザイン賞選考委員、日本造園学会、日本地理学会など多方面にわたって活躍中。平成27年4月から、慶応大学教授に就任。



イギリスのオープンガーデン

川崎には港湾部の工業地帯から丘陵の住宅地や農地まで、とても多様な風景がある。良い風景写真を撮ろうとするとつい観光地や名所旧跡を撮影してしまうが、私たちが見ている風景のほとんどは個人の住宅や庭や、道路沿いの何気ない風景であったりする。



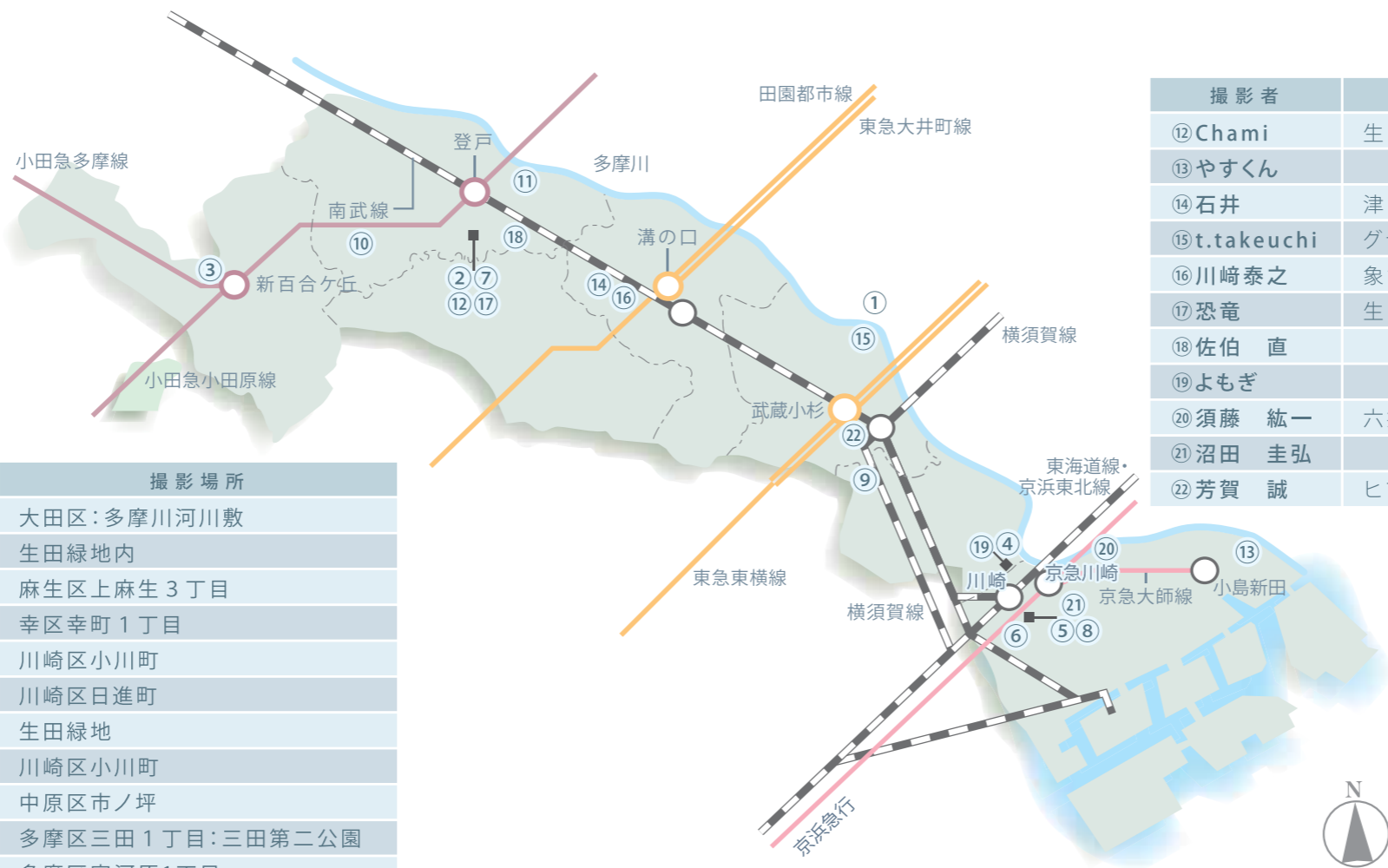
講師幼少時と現在 同じ場所にて撮影

イギリスのオープンガーデンのように、個人の園芸が国のイメージを形作ることもある。一人一人の身近な風景に対する記憶や思い入れや愛着が、街を眺める目を養い、川崎全体の景観の向上にもつながってゆく。

# 川崎撮影マップ

K W A S A K I \* S H O O T \* M A P

撮影者	題名	撮影場所
①黒でめきん	夕景の街 武蔵小杉	大田区:多摩川河川敷
②高橋 直子	日本民家園	生田緑地内
③美帆	小田急線が通る	麻生区上麻生3丁目
④小林 美佳	雪化粧	幸区幸町1丁目
⑤辻 安正	エキゾチックタウン1	川崎区小川町
⑥原 正樹	ダンスの街・川崎	川崎区日進町
⑦ジュノア	美しい輝く森	生田緑地
⑧望月 康彦	ここ、どこ?イタリア?	川崎区小川町
⑨志賀	よる・小杉・横須賀線	中原区市ノ坪
⑩生田		多摩区三田1丁目:三田第二公園
⑪たかし	ニヶ領用水と人と鴨	多摩区宿河原1丁目



撮影者	題名	撮影場所
⑫Chami	生田緑地 あじさい	生田緑地
⑬やすくん		川崎区殿町3丁目
⑭石井	津田山の桜	高津区:緑ヶ丘霊園内
⑮t.takeuchi	グラデーション	中原区上丸子天神町
⑯川崎泰之	象さん公園	高津区下作延
⑰恐竜	生田緑地~Vegetal Road~	生田緑地
⑱佐伯 直		多摩区長尾3丁目
⑲よもぎ		幸区堀川町
⑳須藤 紘一	六郷橋のたもと	川崎区旭町1丁目
㉑沼田 圭弘		川崎区砂子1丁目:ハローブリッジ
㉒芳賀 誠	ヒマラヤ杉の大樹が迎える街	中原区新丸子東3丁目



撮影者 黒でめきん

コメント 多摩川の対岸より土手で野球の練習をする少年たちと武蔵小杉の街並みを一枚。  
夕日に照らされたビルと雲のバランスが難しかったです。

講評 川崎らしさを感じられる1枚です。  
平坦な小杉という地域に、高層ビルが林立しているという新しい風景です。手前に人が映っていて、スケールの奥行きがわかります。

サインスペース  
原稿が確認できません。



撮影者 高橋 直子

コメント 紅葉と日本家屋のコントラストをしっかりと出したいと撮影しました。

講評 一見すると、いつの時代かわかりませんが、よく見るとアプローチに傾斜板があり、現代のものだということを表しています。また、傾斜板があることにより、「民家」ではなく「民家園」という公共施設であることが感じられます。意識せずに撮っているところがいいですね。



— 石川賞 —  
小田急線が通る

撮影者 美 帆

コメント 新百合ヶ丘駅付近で撮影した。奥から手前へと走る小田急線に心躍る。畑が広々としていて、さまざまなものを見渡せる。遠くには麻生川と住宅が。麻生川沿いには、春には満開の桜が並ぶので美しい。

講 評 手前はたぶん市民農園だと思いますが、丘陵も都市基盤もある。農園に傾きがちな構図に、これらを組み合わせたところがいいですね。いろいろな意味で、ある地域の川崎らしさが凝縮されている。シャッターを押したときの気持ちのようなものが現れていて、とても好ましい作品です。





雪が積もる女体神社のイチョウの木が、寒さに耐えながら春への準備をしているように見えました。



表通りから1歩入ると、そこはイタリアの街角。イタリアのヒルタウンをモチーフに作られた総合エンターテインメント施設チッタデッラである。



川崎駅東口側のルフロン付近では夜になるとHip-Hopダンスメンバーが練習しています。



ドラえもんミュージアムの屋上庭園です。森と池が太陽の光で輝く世界をつくって、とてもきれいです。

ここ、どこ？イタリア？

望月康彦



イタリア人が「わあ、イタリアだ」と驚いたという街並みです。



再開が進む小杉の高層ビルの光と横須賀線の電車の光がとてもきれいだと思います。

よる・小杉・横須賀線

志賀



イチョウの絨毯ができていたので撮影しました。



川崎駅や小杉駅など開発により賑わいのある場所に人々の注目が寄せられますが、その裏にある穏やかな場所も川崎の良い所だと思います。この写真に、ありのままの穏やかな川崎の生活景の一つを捉えてみました。

生田緑地 あじさい



Chami

春の生田緑地。あじさいをゆっくり楽しむことができる私だけの秘密の場所。



多摩川沿いの桜並木

やすくん



春に津田山の桜を撮影しました。通りが一面桜色にうまっていました。



多摩川沿いは、サイクリングやジョギングにぴったりのスポット。自転車でもおりすぎる人が、なんとも気持ちよさそうだったので、一枚。



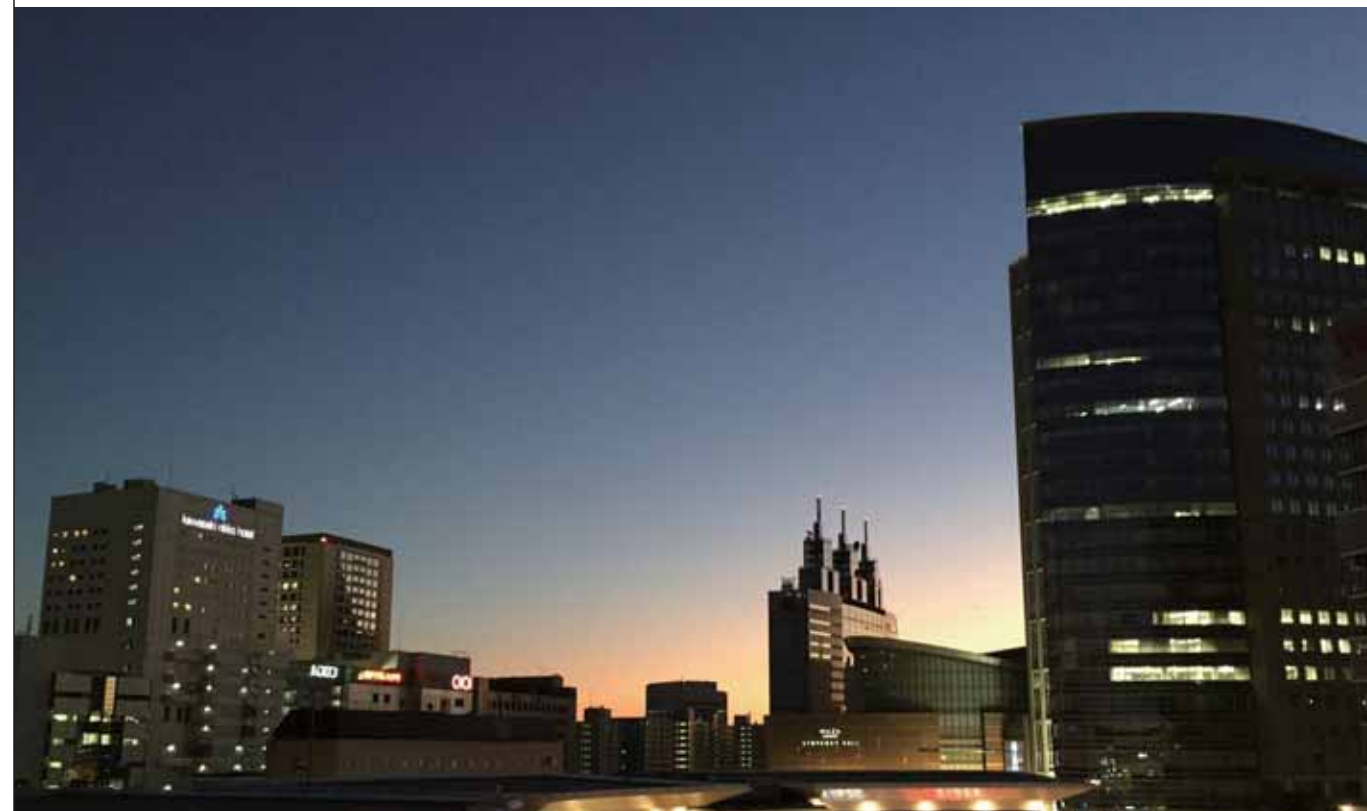
下作延のこども夢パークの近くに 있습니다。ゆるやかな斜面もあり子どもたちに人気の公園です。



11月末に撮影。紅葉した落ち葉が階段を埋め尽くしていました。その様子は、お菓子の野菜チップスのようで、きれいで美味しそうでもありました。



6月に入ると、あじさい寺で有名な妙楽寺は紫陽花と人で埋まる。山すそに一面の紫陽花の花が咲き、人も花で埋まる。



川崎駅のまわりに面白い形のビルが多かったので撮影しました。



広々とした空と川がお気に入り  
のウォーキングコースです。



川崎駅を南北に縦断する第一京浜国道。かつて京浜工業地帯を支えた幹線道路であった。大型トラックが多い。  
左に真夏の祭りで賑わう稲毛神社の赤い鳥居が見える。むかう先は蒲田・品川そして東京銀座である。



再開発でタワーマンションが建ち並び、すっかり変わった武蔵小杉駅南口にヒマラヤ杉が残され、新しい櫻の並木と調和して、ここを訪れる人々に街並みのシンボルとして癒しの存在を示している。

## あとがき

今回、ワークショップ参加者の皆様からご紹介いただいた「撮っておきの川崎」は何気なく存在する街なみの一部を切り取ったものも多く、「心に残る景観」が多彩であることをあらためて感じることができました。

このフォトブックをご覧いただいた皆様にも、身近な場所の中から、お気に入りの景観や川崎の新たな魅力を発見していただけたら幸いです。



なお、景観・まちづくり支援課では、良好な景観を形成するための取り組みとして、「建物」や「広告物(看板)」等に係るルールを定めています。

また、地区の特徴を活かすため、地域住民の皆様ルールを検討する団体を作ってください、職員がその団体の活動をサポートしながら地域独自のルールを作り上げる制度もごございます。ご興味をお持ちの方は、当課までご連絡をいただければと思います。

平成27年3月

川崎市まちづくり局計画部景観・まちづくり支援課  
Tel: 044-200-2707  
Fax: 044-200-0984  
E-mail: 50keikan@city.kawasaki.jp